

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公表番号】特表2004-525903(P2004-525903A)

【公表日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-033

【出願番号】特願2002-567204(P2002-567204)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 47/46

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 31/14

A 6 1 K 31/155

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 31/44

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 31/5415

A 6 1 K 33/30

A 6 1 K 47/10

A 6 1 P 11/02

A 6 1 P 27/16

【F I】

A 6 1 K 47/46

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 31/14

A 6 1 K 31/155

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 31/44

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 31/5415

A 6 1 K 33/30

A 6 1 K 47/10

A 6 1 P 11/02

A 6 1 P 27/16

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月20日(2003.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

副鼻腔を清浄化するための組成物であって、担体手段、防腐／抗真菌手段及び副鼻腔から発する臭気を隠蔽または除去するためのマスキング剤を含む組成物。

【請求項2】

保存剤、反対刺激剤、溶解度賦活剤、抗感染手段及び治療薬の少なくとも1つをさらに含む請求項1に定義される組成物。

【請求項3】

防腐 / 抗真菌手段が塩化セチルピリジニウム (CPC) 、クロルヘキシジン ジグルコネート、ヘキセチジン、サンギナニン、トリクロサン、及び塩化ベンザルコニウムの少なくとも 1 つから選択される、請求項 1 の組成物。

【請求項 4】

治療薬が酢酸亜鉛及び塩化亜鉛からなる群より選択される、請求項 2 に定義される組成物。

【請求項 5】

治療薬が亜鉛イオン利用可能性 100 を有する、請求項 2 に定義される組成物。

【請求項 6】

組成物が、スプレー ボトル、ドロッパー、ポンプボトル、及び噴霧器型ボトルからなる群より選択される送達手段によって投与される、請求項 1 に定義される組成物。

【請求項 7】

請求項 1 1 の組成物の使用であって、前記組成物を鼻の通路又は副鼻腔に投与することによる前記組成物の使用が、少なくとも以下の 1 つを遂行する使用：

喫煙者の息を除去する、

薬用鼻の組成物のプラセボとして作用する、

苛酷な環境に生活する人々の鼻及び副鼻腔通路を鎮静化する、

高い花粉カウントを伴う地域に生活する人々の鼻及び副鼻腔通路を清透化する、

汚染された地域に生活する人々の鼻及び副鼻腔通路を清透化する、

いびきをかく人々の鼻及び副鼻腔通路を清透化する、

睡眠時無呼吸を患う人々の鼻及び副鼻腔通路を清透化する、

近年鼻または副鼻腔手術を受けている人々の鼻及び副鼻腔通路を清透化する、及び、

広く口頭で意志疎通を図る人々の鼻及び副鼻腔通路を加湿する。

【請求項 8】

鼻腔及び副鼻腔を清浄化するための組成物であって、加湿基剤成分としての食塩液、副鼻腔または鼻腔からの臭気を遮蔽または除去するための香味料、組成物の保存期間を強化するための保存手段、鼻腔及び副鼻腔による組成物の受容を促進するための反対刺激剤、感染防止剤及び成分の可溶性を促進するためのアルコールを含む組成物。

【請求項 9】

酢酸亜鉛または塩化亜鉛の治療手段をさらに含む請求項 8 に定義される組成物。

【請求項 10】

組成物の約 0.1 から約 2 重量パーセントの浸透圧剤；

組成物の約 0.1 から約 5 重量パーセントの緩衝剤；

組成物の約 0.1 から約 1.2 重量パーセントの可溶化剤；

組成物の約 0.001 から約 5 重量パーセントの界面活性剤；

組成物の約 0.001 から約 1.0 重量パーセントの防腐剤；

組成物の約 0.001 から約 5 重量パーセントの抗感染剤 / 抗真菌剤；

組成物の約 0.1 から約 4 重量パーセントの甘味料；

組成物の約 0.1 から約 5 重量 % の芳香性成分；

組成物の約 0.001 から約 5 重量パーセントの治療薬；

組成物の約 1.00 重量パーセント未満の溶媒、

を含む組成物。

【請求項 11】

担体手段、防腐 / 抗真菌剤、及び副鼻腔から発する臭気を隠蔽または除去するためのマスキング剤を含む組成物を提供すること、及び、

鼻通路及び副鼻腔において前記組成物を投与することにより前記組成物を使用することの工程を含む方法。

【請求項 12】

防腐 / 抗真菌剤を含む組成物を提供する前記工程が、

細菌、真菌及び病原菌を除去し、それによって臭い息の制御及びアレルギー関連又は副

鼻腔炎の状態の抑制において補助する防腐 / 抗真菌剤を含む組成物を提供する前記工程を含んでなる請求項 1 1 の方法。